

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
幸地 猛	儀間ダムの水質管理対策及び上水道整備について	<p>1. 上質な水の確保について</p> <p>(1)儀間ダム上流の農地を購入する考えは。</p> <p>2. 上水道整備について</p> <p>(1)山城上水道の整備をする計画は。</p>	町長	<p>儀間池の流域は農地が多くありますが、36種類の農薬について水質検査を実施しており、異常値は確認されておりません。現在、流域農地の購入は計画されておりませんが、農薬を使用しない草地としての土地利用の推進、町有地の払下げ、貸借についても流域を考慮する必要があると考えております。山城浄水場の整備計画につきましては平成27年度に町全体の整備基本計画を策定する予定で進めております。その中で具志川浄水場、山城浄水場の整備計画を検討していきたいと考えております。</p>
幸地 猛	本町人口減少問題について	<p>本町の人口減少歯止めの具体策について</p> <p>(1)本町は人口減少の一途をたどっているが、人口を増やす具体的な施策の検討は。</p>	町長	<p>本町の人口減少は転入より転出が多い社会動態の差に大きな特徴があります。Uターン、Iターンなどの転入を増やすためには雇用の場が最も重要と考えており、今後、新産業創出に重点をおいた「地方創生総合戦略」を策定して人口増に取り組んでまいります。</p>
幸地 猛	久米島～那覇間の航空運賃値下げについて	<p>久米島～那覇間の航空運賃の値下げ対策は</p> <p>(1)国、県の施策はどうなっているか。</p> <p>(2)JTAの基本的な考えは。</p> <p>(3)航空運賃値下げの対象者の範囲は。</p> <p>(4)具体的な値下げ幅の交渉は。</p>	町長	<p>(1)沖縄県は、離島住民の交通コストを本土のJRの運賃並みに低減することを基本方針としています。</p> <p>(2)JTAの基本的な考え方については、民間会社ですので把握していません。</p> <p>(3)現在、久米島町は沖縄県の離島住民等交通コスト負担軽減事業により、住民については、4割運賃が軽減されています。しかし郷友会や観光客等の交流人口は、割引の対象外となっています。このことが観光振興の阻害要因となっていますので、これまで、交流人口も運賃低減の対象にするよう要請行動を行って参りました。現在も交渉を継続しているところであります。</p>
平良 義徳	19号台風の被害状況について	<p>去った19号台風では、人的被害は特に無かったものの、農作物や水産物は甚大な被害がありました。農作物全体の被害額を伺う。又、被害補助の有無についても説明を求める。</p> <p>又、水産関連では、エビ養殖場のコンクリート壁や導水管等の破損、高潮、強風によりエビの流出も含めての被害額は、又被害補助の有無について伺う。</p>	町長	<p>台風19号による被害は、次のとおりであります。</p> <p>農作物被害 61,438千円</p> <p>水産施設被害</p> <p>久米島漁協 施設被害 200,000千円</p> <p>エビ流出被害 80,000千円</p> <p>エポック 施設被害 33,044千円</p> <p>エビ流出被害122,312千円</p> <p>南西興産 施設被害 14,245千円</p> <p>エビ流出被害 29,847千円</p> <p>台風19号による久米島漁業協同組合の5号池については、施設が町所有の公用施設となっているため、災害復旧事業により、復旧をする予定で本議会に補正予算を計上しています。久米島漁協の2号池、3号池については、久米島漁協の所有となっており、災害復旧事業の補助率が2割と低いため、水産庁の強い水産業づくり交付金事業により、復旧する予定であります。</p> <p>南西興産やエポックの民間施設の復旧については、該当する補助金がありませんので、公庫等から借入をしてもらい、沖縄県の漁業災害対策資金利子助成事業により、利息分を県5割、町5割の負担で支援を行いたいと考えています。</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
平良 義徳	久米島町の航路運賃の軽減について	この件に関しては、これまで同僚議員からも一般質問で指摘されていますが、再度質問します。 (1)先般、離島航路運賃(空路・海路)軽減を求める委員会が組織され、町婦人会が代表とし、多くの賛同する団体の意見も踏まえて、町民や本島在住の久米島出身関係者の署名を頂き県知事へ要望書を提出していますが、進捗状況を伺う。 (2)去った9月には、県議員のお二人と町民(行政・各種団体等)との航空運賃問題についての意見交換会がありましたが、その中で二人の県議の方に、負担軽減	町長	(1)離島住民等交通コスト負担軽減事業の交流人口への拡充については、引き続き交渉を行っているところであります。 (2)去った9月に行った県議会の皆さんとの意見交換会のあと、個別に要請を行っています。予算案が上程されたとき議員の支援が得られるものと思っています。
平良 義徳	町一円の県道や町道の管理について	町一円の県道や町道の標識、カーブミラー、ガードレール、道路のセンターライン等、破損や機能してないのが見受けられるが、定期的に点検しているか伺う。	町長	町道については現在、一般住民からの情報、児童・民生委員による「子供の遊び場所を中心とした危険箇所点検」に基づくご指摘、町議会及び区長会からのご指摘等があった箇所を点検し優先順位を決めて修繕を行っています。
平良 義徳	町の博物館通りの管理について	博物館通りの公園や歩道(街路樹の所)は頻繁に草が生い茂っているが、どのような管理体制をしているか伺う。	町長	博物館通りの歩道については、博物館職員・環境保全課作業員でそれぞれ年2回の計4回、公園については、環境保全課作業員で年2回草刈を実施しています。公園の除草回数が少なく雑草がのびていますので回数を増やして対応するよう努力します。
玉城 安雄	スポーツ合宿誘致、各種大会の誘致について	25年6月議会で、スポーツ合宿の誘致について質問したところ、その後の対応として、陸上競技の合宿誘致に向け多目的グラウンドのタータンの整備、クロスカントリーコースの取り組んでいるとしている。その他の運動公園施設は着実に整備され、町民やプロ野球等のキャンプに利用されているが、さらなる有効利用のため、県内、県外の高校、大学、企業チームに利用してもらい、町の活性化につなげていくことが重要だと思う。また、県内の小中高生、一般の大会の誘致にも積極的に取り組む必要があると考えるが、当局の見解を伺う。	町長	スポーツ合宿の誘致については、平成26年5月27日に「久米島町スポーツコンベンション推進協議会」を設立し、スポーツ合宿の誘致に取り組んでいるところであります。今年度は、協議会がスタートしてまもなく、十分に機能していないところもあるとおもいますが、今後、協議会を中心に関係課、関係機関が連携してスポーツ合宿等の誘致にとり組み、地域の活性化に繋げて参ります。県内の小中高生、一般の大会の誘致については、各競技団体等が取り組んでいます。効果的に行うには、関係課、関係機関の連携が重要だと考えます。このことについても、協議会を中心に積極的に取り組んで参ります。
玉城 安雄	福祉行政について	1. 特定不妊治療費助成金交付事業について 25年度決算、15万円、26年度当初予算30万円となっていて、金額的に少ない気がするが、対象者が少ないのか、交付方法も含めて現状はどうなっているのか伺う。 2. 病児、病後児保育について議会後の対応では専門職の配置など課題があり、実施は不可となっているが、この件で、公立病院が前向きに考えているということを知ったが、現状はどうなのか伺う。	町長	1. 特定不妊治療費助成金交付事業については、県が実施している同事業を補填する形で治療に要した費用額から県の助成金額を控除した残りの額を15万円を限度に交付します。対象者は、把握できておりません。平成25年度は1件の交付で、今年度は現時点での申請はありません。 2. 病児、病後児保育については、実施要件に看護師の配置があることから実施は厳しい状況ですが、公立病院の協力があれば、可能性はありますので、今後病院側と協議しながら進めて行きたいと考えています。
棚原 哲也	高速船の導入について	町長は、今年度久米商船を加えた検討委員会を立ち上げ、年3回の委員会を開催し、必要事項を取りまとめ、高速船の早期導入に努めると6月の定例会で答弁しているが、その進捗状況を伺いたい。	町長	検討委員会は高速船導入時期を明確にしてから立ち上げる必要があると考えていますが、既存航路事業者は古い船舶の引退時期をなるべく延長したい意向があるため調整に時間を要しています。次のステップに進むためにも事業者へは古い船舶の更新時期を早めに決定していただくよう働きかけてまいります。
棚原 哲也	町の機構改革について	町行革で、平成23年度に農水と商工観光が統合してできた産業振興課について、町内経済団体から再分課の要請がなされているが、新年度に向けて他の課も含め、改変の考えがあるか伺いたい。	町長	現在、新年度に向け、機構改革検討委員会を設置し、検討しており、方針が決まり次第、説明していきます。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
棚原 哲也	仲原家の利活用について	6月の定例議会の答弁で町長は、時間をかけてちゃんとしたかたちで決定したいとしているが、活用方法及び委託管理先は決定しているか伺いたい。	町長	仲原家についての活用方法は6月定例会で答弁したとおり部内でもいろいろと検討してまいりましたが仲原善忠先生が歴史研究者でもあり沖縄の偉大な教育者でもあったことなどを踏まえて「久米島の未来を担う人材育成を考える拠点」として活用したいと考えています。具体的には先ずプロジェクト推進室が事務局になっています「国際海洋資源エネルギー利活用推進コンソーシアム」の「人材育成・研究開発推進部会」などが中心となって活用してまいります。
棚原 哲也	台風19号により崩壊した漁協の車海老養殖場の復旧について	車海老養殖場は漁協の主要な経済事業であり、早急な復旧が必要だと思うが、県、又は国との調整は進んでいるか伺いたい。	町長	台風19号により被害を受けた久米島漁協の車エビ養殖場のうち、5号池については、今年度の災害復旧事業により復旧する予定で関連予算を補正予算に計上しています。2号池、3号池の復旧については27年度補正予算対応で行う方向で沖縄県水産課と調整しています。
宇江原 総清	鳥島射爆撃場の早期返還について	<p>安倍政権は、「美しい国日本」という美辞麗句を使い、軍国主義の道へひた走りしている。憲法を無視した閣議決定による集団的自衛権の行使容認、特定秘密法の制定、武器輸出三原則の撤廃等、特に辺野古の新基地建設で、その手法は恫喝で独裁的だ。</p> <p>その手法の先に見えるのが、去る大戦における久米島島民虐殺事件彷彿である。それでも、沖縄県にいちの望みを残したのが、今回の沖縄県知事選挙だ。沖縄のアイデンティティーを掲げ、「オール沖縄」で訴えた知事候補が大勝した。私達久米島町民も町民の主体性で以って、「鳥島射爆撃場の早期返還」を実現させるべきだ。特に子供達の生命健康問題をはじめ、町の経済活性化を図るためにも、町が先頭に立ち、「町民総決起大会」と「子供達の遺伝子検査」を実施すべきだと私は考えている。</p> <p>町長に伺う。</p> <p>(1)安倍政権の政治手法と今後の見通し  (2)今回の知事選挙結果と新知事に対する期待  (3)鳥島射爆撃場早期返還町民総決起大会開催時期  (4)子供達の遺伝子検査を国への要請と実施時期</p>	町長	<p>(1)ご指摘については理解できますが国のトップの立場から国際社会での日本の状況、今後の展開等、安倍政権の進める手法については必ずしも全面的に否定できないと思います。</p> <p>(2)選挙結果については沖縄県民の意志であり、それに対して異論はない。新知事に対しては就任後の政策等をお聞きし、要望していきます。</p> <p>(3)議員の考えは理解しますが射爆撃場の返還については久米島町民全体の総意のもとで実施すべきだと考えます。県・軍艦協や島内の各団体と連携し、効果的な時期で調整していきます。</p> <p>(4)当時、県が公表している市町村別の死亡率では久米島町のがん死亡による比率は県下で37位に位置し、低い方で他市町村に比べ、町民の健康状態に異常値等は認められず、国に対して要請は困難な状況です。因果関係が認められない以上、要請すべきではないと考えます。</p>
宇江原 総清	コンクリート護岸の撤去と潮害防備保安林等の植栽について	<p>年も台風18・19号の台風被害、取分け塩害は甚大なものがあつた。さとうきび等の農作物の塩害、エビ養殖場の越波等による被害は大きい。その原因は、コンクリート護岸にある。護岸を摂理に反した構造そのものにある。</p> <p>県農水部農村整備課は、日本工営(株)等に委託して「沖縄の特性にふさわしい海岸整備のあり方に関するアンケート調査及び問診(聞き取り)調査の協力をお願い」と言う文書で、平成25年11月吉日に発出されている。</p> <p>町長に伺う。</p> <p>(1)今年の台風がもたらした塩害と越波の実態を把握しているか。  (2)災害対策基本法に基づく基金とその活用  (3)県農水部から発出された前述のアンケート調査等を周知しているか。</p>	町長	<p>(1)今年の台風による塩害と越波による被害は把握しています。台風の際の塩害がコンクリート護岸によるものかについては明確でないためコメントは差し控えたいと思います。越波について19号台風では、気圧の低下に伴う高潮と風向きにより字真泊の集落内と字真謝の土地改良区の一部に大量のゴミが打ち上げられるなど久米島の北側に被害が集中しました。全体的な被害額については、平良議員への答弁書のとおりであります。</p> <p>(2)災害対策基本法に基づく支援は農水産業・中小企業・被災者生活再建支援等、国・県の支援があります。基金については災害対策基本法第101条で基金を積立てなければならないとしていますが現実的に基金創設している市町村は少ない状況です。</p> <p>(3)平成25年11月に実施された、農林水産部 村づくり計画課のアンケートについてお答えします。このアンケートは沖縄型海岸整備促進事業の一環で、沖縄の特性にふさわしい海岸整備指針を策定し、主に老朽化した護岸を対象に指針に沿った整備を行っていくことを目的で、今後の海岸整備に活用されるようです。</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
宇江原 総清	真謝天后宮の改修案件の進捗状況について	天后宮の対聯案件は、これに先立って天后宮の改修が先だと思っている。私の考えは仏をつくって魂を入れる事。県との進捗状況を伺う。	教育長	天后宮の改修につきまして、10月に文化財専門業者(首里城・守礼門設計業者)と現地調査を行い現在、概算工事費及び設計・管理費の見積依頼をしている最中です。
宇江原 総清	謝名堂川改修工事の県との調整について	山・川・海等の自然再生をすることが、海をはじめとする農産をもたらす。謝名堂川の町のビジョンと進捗は、又、県との調整はどうなっているのか。	町長	謝名堂川改修工事について南部土木事務所に事業計画を確認したところ、今年度で測量設計を発注し、平成27年度で用地交渉、平成28年度から工事着手の予定です。工法等については、測量設計業務が発注されてないことから、協議はされていません。
宇江原 総清	久米島一周線(県道424号)謝名堂・泊間改修工事の進捗状況について	謝名堂・泊間の一周線道路改修案件はどうなっているのか伺う。	町長	本道路整備に関しては、7月25日に沖縄県土木建築部長へ要望書を提出し、9月4日南部土木事務所長及び10月24日に道路街路課長に事業採択と早期着工を直接要望しています。
山里 昌輝	教育行政の現状と課題	<p>・町長選挙公約の教育の再生とは、全般的なことか、又部分的なことを言っているのか。</p> <p>・教育長は、就任冒頭で幼稚教育に力を注ぎたいとのことでしたが、今後の計画はどうなっているのか。</p> <p>それぞれについて、具体的に説明願いたい。</p>	町長 教育長	<p>選挙公約については、全般的なことを言っております。教育の再生は、久米島の将来を担う子どもたちの環境作りを次の3点について考えております。</p> <p>(1)義務教育の無償化。</p> <p>(2)町単独の奨学資金制度による教育格差の是正、県外及び海外での研修、交流プログラムによるグローバルな人材育成。</p> <p>(3)図書館、町営塾の開設による学力向上、進学率向上支援。 山里昌輝議員のご質問、幼稚園教育についてお答え致します。</p> <p>本町の大きな教育課題の一つに学力向上が挙げられますが、本年度の全国学力学習状況調査の結果からは、小学校も中学校も、全国平均に着実に近づきつつあります。今後も引き続き、学力向上に向けた取り組みを推進してまいります。その中で、教育委員会としては、小学校に就学する前の幼稚園教育を充実させることが、さらなる学力の向上につながると考えております。そこで、各幼稚園の園児数の格差から生じる保育内容の差を出来る限り解消し、教師が一人一人の園児に、丁寧できめ細かい指導ができる保育環境を整備する必要があると考えております。その実現のために、教育委員会では、既に「幼稚園統廃合検討委員会」を立ち上げ、その中で幼稚園の統廃合について推進してまいります。</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
仲村 昌慧	観光について	町長は観光産業の再生として、高速船の導入を図るとしているが、高速船導入について進捗状況を伺う。 次に町長は、観光入域客数を15万人を目標とするとしているが、目標年度は何時か。 今年度の目標入域客数の達成見通しと、27年度の目標入域客数について伺う。	町長	高速船導入時期について古い船舶の引退時期を目処に考えていますが、既存航路事業者は古い船舶の引退をなるべく延長したい意向があり、調整に時間を要しています。次のステップに進むためにも事業者へは古い船舶の更新時期を早めに決定していただき導入に向けた環境を整備したいと考えています。 (2)沖縄県は、平成33年度の観光入域客数の目標値を1000万人としています。私が政策として掲げている久米島観光入域客数15万人は、県の目標値に対応したものであります。 平成26年3月に策定した「久米島町観光振興計画」において、平成26年度の観光入域客数の目標値を92,000人(前年比4,579人増)と定めています。上半期の達成状況を見ますと前年比1,829人(3.1%)増となっていて、目標にわずかに届かない数値となっていますが、下期に挽回し目標を達成するように観光協会やホテル等と連携して取り組んでいるところであります。平成27年度の目標入域客数については、99,000人となっています。
仲村 昌慧	義務教育費の無償化について	町長は、少子化に歯止めをかける施策として、義務教育にかかる費用の無償化を公約として掲げているが、義務教育に係る費用とは具体的にどのようなものか、無償化を何時から実施するのか伺う。	町長	久米島の将来を担う子供達の環境作りの施策として掲げていますが、内容については事務方での検討はこれからです。無償化がいいのか。支援がいいのか等、本町の教育環境を精査し、何が効果的か、何が最優先で取り組むべき事項かを整理した上で進めていきます。
仲村 昌慧	世界の久米島ンチュ大会について	5年毎に行われる世界のウチナーンチュ大会が、2016年に第6回大会が開催される。 この機会に世界の久米島ンチュ大会を開催できないか、町当局の考えを伺う。	町長	H23年に「第5回世界のウチナーンチュ大会久米島関係者の集い」が那覇市のポートホテルにて開催されたと聞きます。第6回に向けて久米島町にて開催できるか大会本部と調整していきます。
仲村 昌慧	特別支援教育支援員の配置について	久米島の学力は、小学校でのつまずきが雪だるま式にふくれあがり、中学校へ入学する時には取り返すことのできないくらいの遅れがあると言われている。小学校への学習支援を充実させることによって、初歩的な学習のつまずきを回避し、学力が向上するものとする。特別支援教育支援員の適正な配置ができないか伺う。	教育長	仲村昌慧議員のご質問、特別支援教育支援員の配置についてお答え致します。 特別支援教育支援員の配置については、特別な教育的支援を要する子に対して、学校生活が円滑に行えるよう、生活支援、学習支援、安全確保等のサポートを目的に配置しております。その役割は、学校生活における生活面や安全面に対する支援が中心となるため、教員免許の所持を採用条件としておらず、ほとんどの支援員が免許を持っていないというのが現状です。配置の基準としては、町の就学指導委員会で支援員が必要と判定された児童生徒を対象として、学校の申請をもとに配置しておりますが、学校によってはまだまだ要請に充分応えられていない現状がございます。

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
仲村 昌慧	栄養教諭の配置について	島の子どもの肥満率は全国平均より1.5倍から2倍と、高くなっている。子ども健診の異常率も高く、子どもの健康の状況は悪くなっている。11月17日第1回久米島町健康づくり推進協議会の中で、栄養教諭の必要性の意見があったが、栄養教諭を配置できないか伺う。	教育長	<p>仲村昌慧議員のご質問、栄養教諭の配置についてお答えします。</p> <p>文部科学省では、現在「学校栄養職員」を順次「栄養教諭」に置き換え、「食育」の推進を図っております。沖縄県内の公立小中学校における栄養教諭の配置状況につきましては、予算面・資格の取得状況などから、約20名程度と少なく、食育を研究している先進校や大規模校を優先して配置しているようです。</p> <p>以上の理由から、本町への栄養教諭の配置につきましては、現状では大変困難であると考えます。しかしながら、本町に配置されている学校栄養職員が「栄養教諭」の資格等を取得した場合、残任期間を「栄養教諭」として配置される可能性がございます。</p> <p>また次年度においては、食育の充実を目指し、県が作成した「担任でも食育指導できる副読本・指導書」が全学校に配布される予定です。さらに、公立病院の医師や福祉課の栄養士など、町内の専門家を積極的に活用しての「食育の授業」についても、各学校で工夫して取り組めるよう支援してまいります。</p>
仲村 昌慧	学校の津波対策について	津波時に浸水が想定される学校は、沖縄県で215校と全国で2番目に多いと報告である。本町の学校で浸水が想定される学校は何校か。避難対策は十分か伺う。	教育長	<p>仲村昌慧議員のご質問、本町の学校で津波時の浸水が想定される学校数と避難対策についてお答え致します。</p> <p>平成25年に、県が調査し公表した津波浸水予測図によりますと、町内の学校では、仲里小学校・幼稚園、久米島小学校・幼稚園、清水幼稚園の2小学校、3幼稚園が浸水するであろうとされております。避難対策につきましては、毎年町内の全ての学校・幼稚園におきまして、町の定めた防災計画をもとに各学校で計画した「地震・津波を想定した避難訓練」を実施しております。中でも、特に海拔の低い学校については、避難場所への迅速な移動のために、避難場所や避難経路の見直し、移動方法の工夫等を行いながら、実施訓練を重ねております。このような訓練を毎年計画的に実施することで、子ども達に、津波の際の避難方法を身に付けさせております。</p>
仲村 昌慧	農業の担い手の現状について伺いたい	(1)現在、把握している担い手は何名いるか。 (2)担い手に対して、現在行っている事業は。 (3)これから、計画されている事業は。	町長	<p>(1)現在久米島町の担い手(認定農業者)の数は、39名であります。</p> <p>(2)担い手に対しての支援策については</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 各種助成金の支給</li> <li>イ 担い手の経営相談、技術指導</li> <li>ウ 制度資金の拡充</li> <li>エ 農地の面的集積促進</li> <li>オ 農業用機械、施設等の導入支援などがあります。</li> </ul> <p>(3)これから(H27)予定されている事業としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 畜産基盤総合整備事業(県)</li> <li>イ 沖縄県農業生産・経営対策事業</li> <li>ウ 青年就農給付金支給事業</li> <li>エ 新規就農一貫支援事業</li> <li>エ 農地管理中間事業</li> </ul> <p>などがあります。</p>

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者	答弁要旨
仲村 昌慧	町営住宅の入居の応募に関して伺いたい	現在、町営住宅は空待ちを優先して入居している。しかし、宇江城住宅に関して、空待ちの方がすぐ入居しない。何ヶ月も空いた現状がある。入居条件を変更できないか。	町長	町営住宅の入居者募集については、毎年2月に定期募集を行っております。申込者が複数の場合には、抽選により順位を決定しその順位より空住宅に入居してもらいます。また、年度の途中で空き住宅がある場合に希望者がいなければ臨時に募集を行っております。
安村 達明	真謝部落の農道整備について	2年程前に、真謝部落のマンドウ原整備の話がありましたが、機会が作れず現在に至っており、最近、法要の場で再度、この話が出ました。自分の躊躇する気持ちが後回ししたようで、今度こそ、しっかりと町へ要請すると答えました。過去に、マンドウ原の整備の話は町へ要請がなかったのかどうか伺う。マンドウ原には、農地やお墓もたくさんあり、道路くずれでやむなく移転した墓もあると聞いている。高齢者の方は、農地を放棄したりして農作放棄地を作り出している。草刈りや、掃除にも大変苦慮しているようです。あと何年も待たない内、戦後生まれの人々の高齢化も進みますが、農作放棄地や掃除の出来ない無縁墓地を作り出さないためにも、特に高齢者の安心安全な生活を守ってあげるためにも、マンドウ原の整備は不可欠だと思うが、町の農道整備の計画について伺いたい。	町長	満堂原(マンドウ)農道については、道路認定がされていないので、道路認定後、整備計画を策定したいと思います。
安村 達明	農道(真謝のクシ原)の舗装について	平成24年3月に農道クシ原の舗装について質問しましたが、予算の都合で時期を見て検討するとのことでしたが、現状について伺いたい。	町長	後原(クシ)道路は、農道ではなく町道真謝22号線となっています。現在、整備計画ありませんが、町道で整備できるか県道路整備課と事業計画を調整したいと思います。